ピックアップ キラリあさひ人 vol.45

まちの主人公は「ひと」。
さまざまな分野からキラリ輝く人を
ピックアップし、紹介します。

守ろう子どもや地域の安全 みんなの協力で

旭市エンジョイパトロール隊事務局長
林 誠さん（西足洗）

「市民が安全で安心して暮らせる。犯罪の起こりにくい環境づくりの一助になれば」――。

林さんと防犯活動との関わりは12年前にさかのぼる。地元の瀬道区長に就いた平成15年。当時子どもたちを狙った凶悪事件が全国的に多発し、市内でも「不審者による追い掛け」などの事案が多く発生していた。そんな中、市からの防犯パトロールの協力要請を受け、翌年、旭地域の区長会が中心となって発足した旭市エンジョイパトロール隊。「お世話になった地域への恩返しに」と林さんは発足当初から隊の運営を務める。

隊の主な活動は、その名のとおり、散歩やジョギングを楽しみながら行う防犯パトロール。「旭防犯パトロール」と書かれた帽子をかぶり、子どもたちの下校時間帯に合わせて、通学路での見守りや声掛けを行う。「帽子をかぶって歩くだけでも犯罪抑止になる」とその効果もあってか、市内の犯罪件数は6年連続して減少しているという。その林さんの信条は「何事にも創意工夫」「熱意を持って取り組むこと」。地元老人クラブの活動で、会員の健康増進を兼ねて防犯パトロールを取り入れたといい、普段から新しいことに取り組む姿勢を忘れない。

「地域が連帯感を持ち、犯罪の機会を与えないことが大事。子どもたちや地域の安全のために、多くの皆さんの参加をお願いしたい」と話す。「安全で安心して住めるまち・旭」を目指し、林さんの活動はこれからも続く――。

行政へ一言！

防犯活動の核となる「防犯ボランティアリーダー」を養成し、これからの防犯事業の継続発展につなげていただければと思います。

【旭市エンジョイパトロール隊】

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」を合言葉に、旭地域の区長会が中心となって平成16年に発足。現在の隊員は817人。防犯パトロールのほか防犯啓発活動や防犯講演会などを行い、市民への防犯意識の高揚を図っている。